

スポーツ体験会（競技団体とこども教室のマッチング）

1. 目的

- ・地元のスポーツチームや民間事業者が、児童クラブや放課後こども教室の小学生に、競技体験会を開催することで、子どもの運動機会や新しい競技体験機会を確保するとともに、スポーツをするきっかけづくり、地域とのつながりづくりを目指す。

2. ヒアリング結果

○団体名

- (1) 松江市スポーツ少年団
- (2) 株式会社 SKSS
- (3) 古志原児童クラブ/ねむの木福祉会

○主な内容

- ・チームの人数を増やそうと思って体験会をしても子どもが来ないので、そういう機会があると非常にありがたいし、やりたい。
- ・スポーツにもお金がかかる時代なので、体験会をするのはいいが指導者へ一定のお金を払うべきだと思う。
- ・種目に特化せず、マルチスポーツ環境を整備することは大切。
- ・学校敷地外に施設がある児童クラブの場合は、会場の確保や移動が伴うことが課題である。

3. 事業概要

○対象：小学生（放課後こども教室、児童クラブ）

○指導者：スポーツ団体の指導者

○会場：地域の小学校等、教室・クラブの周辺施設

○実施手順

- ①スポーツ団体に説明および希望調査
- ②スポーツ団体と放課後こども教室、児童クラブを地域ごとにマッチング
- ③スポーツ団体とこども教室で日程調整し、事業を実施

「こどもへのスポーツ体験の提供」概要

○実施スケジュール（年度）

R7：計画策定、モデル地区の選定

R8：モデル地区での事業実施

R9：事業開始

○課題

・実施可能な会場が近くにない教室・クラブ向けに、施設内でできる競技の検討

・体験会開催団体の考え方

→地域のつながりづくりを目的としていることから

①地域のスポーツチーム

②民間事業者

の順番でマッチングをおこなう。